

アイコン表示内容

-  科目終了試験予定
-  本学ピアノレッスン
及び試験予定
-  地方ピアノレッスン
及び試験予定
-  その他の予定

聖徳大学 通信教育部

児童学部/ 児童学科

人文学部/ 社会福祉学科/ 心理学科
英米文化学科/ 日本文化学科

4月	月	火	水	木	金	土
日						
3/28	3/29  受付開始 (5/9分)	3/30	3/31  4月生前期・ 10月生後期 分学費納入 受付締切	1	2	3
4	5	6  入学式	7	8	9  受付締切 (5/9分)	10
11  試験日	12  受付開始 (5/9分)	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23  受付締切 (5/9分)	24
25	26	27  創立記念日 式典 (事務取扱 休業)	28	29	30  レポート締切 (7/4分)	5/1
5月	月	火	水	木	金	土
日						
2	3	4	5	6  受付開始 (6/20分)	7	8
9  試験日  試験日	10  受付開始 (6/6分)	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21  レポート締切 (8/1分)  受付締切 (6/6分)  受付締切 (6/20分)	22
23	24  受付開始 (7/4分)  夏期 スクーリング 受付開始	25	26	27	28  夏期 スクーリング 事前レポート 受付締切	29
30	31	6/1	6/2	6/3	6/4  夏期 スクーリング 受付締切	6/5

お知らせ

夏期スクーリングについて

平成22年度の夏期スクーリングは、7月25日(日)の開講式よりスタートしますが(一部の科目は7月中頃から開講)、開講科目等の詳細、申込みについては、「聖徳大学スクーリングのしおり」(5月下旬発送予定)でお知らせいたします。スクーリングとレポート提出の併用科目の中にはレポートを事前に提出、合格していないと受講できない科目が下記の通りありますので留意してください。

なお、下記のスクーリング受講条件が最新のものとなります。平成22年度「履修と学習の手引」172ページ、173ページより変更・追加となっていますのでご承知おきください。

学科	科目名	条件
児童学科	国語科教育法	レポート1 課題提出済
	社会科教育法	レポート1 課題提出済
	算数科教育法	レポート1 課題提出済
	理科教育法	レポート1 課題提出済
	生活科教育法	レポート1 課題提出済
	音楽科教育法	レポート1 課題提出済
	家庭科教育法	レポート1 課題提出済
	体育科教育法	レポート1 課題提出済
	社会Ⅰ	レポート1 課題提出済
	乳児保育	レポート1 課題提出済
	保育内容指導法Ⅰ	レポート1 課題提出済
	保育内容指導法Ⅱ	レポート1 課題提出済
	保育内容指導法Ⅲ	レポート1 課題提出済
	社会福祉援助技術各論Ⅰ	レポート1 課題提出済
	教育学演習	レポート1 課題提出済
	精神医学	レポート3 課題提出済
	介護概論	レポート1 課題提出済
	精神保健福祉援助技術総論	本誌p23参照
	精神保健福祉援助技術各論	本誌p23参照
	精神保健福祉援助演習	本誌p23参照
社会福祉学科	精神医学	レポート3 課題提出済
	介護概論	レポート1 課題提出済
	精神保健福祉援助技術総論	本誌p23参照
	精神保健福祉援助技術各論	本誌p23参照
	精神保健福祉援助演習	本誌p23参照
	社会福祉援助技術現場実習 事前指導(09年以降入学生)	レポート1 課題合格済
心理学科	発達心理学Ⅰ	レポート1 課題提出済
	人格心理学	レポート2 課題提出済
	社会心理学	レポート2 課題提出済
	学習心理学	レポート2 課題提出済
	認知心理学	レポート2 課題提出済
	家族心理学	レポート2 課題提出済
	精神医学	レポート3 課題提出済
	臨床心理学	レポート2 課題提出済
	ストレス心理学	レポート2 課題提出済
	応用心理統計法	基礎心理統計法を合格済
	老年心理学	レポート2 課題提出済



学科	科目名	条件
英米文化学科	英語科教育法Ⅱ	英語科教育法Ⅰを合格済
日本文化学科	レファレンスサービス演習	情報サービス概説を合格済
	江戸時代文学史Ⅰ	レポート1課題提出済
	資料組織演習Ⅰ	資料組織概説Ⅰ・Ⅱを合格済
	資料組織演習Ⅱ	資料組織概説Ⅰ・Ⅱを合格済
	情報検索演習Ⅰ	情報サービス概説を合格済
	情報検索演習Ⅱ	情報サービス概説を合格済
	日本文化の知識Ⅱ	日本文化の知識Ⅰを合格済

科目名	レポート提出の条件	スクーリング(実習)受講条件
精神保健福祉援助技術総論	まず第1課題のみ提出 第1課題合格後に第2課題、第3課題提出 (第2と第3は同時提出可)	レポート第1課題提出
精神保健福祉援助技術各論	総論のレポート3課題分すべて合格 (総論のレポートの確認後の提出)	総論のスクーリング受講 (同時期の総論と各論の連続受講可)
精神保健福祉援助演習	—	総論の修得 (レポート、スクーリングともに合格) 各論のスクーリングの受講・合格 (同時期での受講不可)

※なお夏期スクーリング事前レポートの提出締切は5月28日(金)必着となります。

事前合格が条件となる科目の科目終了試験は5月9日の試験までに合格する必要があります。

卒業研究・卒業論文について

平成23年9月卒業予定生で4年次に卒業研究(児童学科・社会福祉学科・心理学科・日本文化学科)、卒業論文(英米文化学科)の作成を希望する学生は、7月末までに通信教育学務課までご連絡ください。

卒業論文履修届の提出期限は平成22年6月9日～9月18日を予定しています。

なお、卒業研究(論文)作成を取り止め、科目の変更をする方は、「科目変更願」を提出してください。

シラバス・レポート課題について

重要 学部レポートの枚数について

レポートにつきまして再度確認いたします。

レポートの文字数については、レポート用紙の最初の課題No.、設題No.記入と本文までの1行分の空白、必要な句読点、改行の空白を含めカウントします。従って手書用の場合、レポート用紙に記載（レポート作成上の諸注意）があるように1,600字の指定の場合No.1～No.8まで（1枚200字）に収めてください。

上記の字数制限でNo.9まで記載がある場合、形式不備として返送となりますので十分に注意してください。第2課題はNo.9～No.16の8枚です。（レポート用紙自体は特別文字数対応でNO.1～No.18までありますので注意してください。）

また、ワープロの場合1枚400字としていますので、1,600字の場合、必ずB5版4枚で収めてください。（レポート課題集2ページ）枚数超過の場合も形式不備で返送しますのでご承知おきください。

以上、迅速な事務処理のために徹底しますのでご理解ください。

※「レポート課題集」1～4ページをよくご確認ください。

ワープロでのレポート提出について

ワープロでのレポート提出の際に、表紙を未着装のまま郵送している例が見受けられます。提出様式の整わないレポートは返送することとなりますので、必ず「レポート課題集」巻頭の「ワープロ使用によるレポート作成について」を参照し提出してください。

「イギリス文学史」レポートに関する注意事項

第3課題 ～次に(2)その詩人の代表作と思われる詩を選んで「翻訳」しなさい。

注意 翻訳の際、必ず原詩も書くこと。

「書写書道」に関する注意事項

児童学科「書写書道」に関する注意事項（平成22年度「レポート課題集」22ページ C065）です。

第1課題 テキストをB4まで拡大⇒拡大した字を手本とし、半紙に収まるように2字書いてください。

また「書写書道」においてレポートとして半紙を提出する際は、すべての提出半紙の左側に鉛筆で氏名を記入してください。

「ソーシャルワーク論」に関する注意事項

社会福祉学科（2009年4月入学生以降）「ソーシャルワーク論」（平成22年度「レポート課題集」43ページ D086）は、第1課題から第8課題まであり、すべての課題の提出が必要です。

作成の順番や組み合わせは不問ですが、第1課題～第4課題と第5課題～第8課題では担当教員（シラバス内容）が異なります。今後は第1課題～第4課題と第5課題～第8課題を分けて（別冊子にて）ご提出ください。



左記科目の課題に変更点があります。
平成22年度「レポート課題集」に記載のものは、左記の内容が変更済となっています。

平成22年度「レポート課題集」の一部において誤りがございましたので、左記の通り訂正いたします。

重要 平成22年度テキスト教材・レポート課題の変更(新入生以外)

4月よりテキスト教材およびレポート課題が変更となる科目は下記の通りです。

2009年度までのレポート課題(旧課題)の締切日は、7月23日(金)となりますのでご注意ください。締切後は、「平成22年度 シラバス」に掲載されています、新テキスト教材を各自購入し新課題を提出していただくことになります。

学科	科目名	コード	ページ
児童学科	生活科教育法	C100	30
	法学Ⅱ	D081	35
社会福祉学科(2009年4月入学生以降)	小児看護	D061	57
社会福祉学科(2008年10月入学生以前)	法学Ⅱ	D081	77
	小児看護	D061	83
英米文化学科	英語のライティング	E002	119
	英単語の構造と関連	E006	134
	比較文化	H001	164
	異文化間コミュニケーション	H002	165

※なお、上記以外に課題のみが変更になっているものについては、『聖徳通信』5月号に掲載します。

重要 平成22年度「レポート課題集」誤植について

平成22年度「レポート課題集」の一部において誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

●レポート課題が差し替わる科目

学科	科目	課題	コード	ページ
社会福祉学科(2009年4月入学生以降)	社会福祉援助技術総論Ⅰ	本誌p27参照(シラバス下)	D096	52
	社会福祉行財政論	第2課題 1 市町村等の地方自治体が地域福祉計画を策定する際、どのような住民参加の方法が考えられるか。あなたが居住している地域での実績に合わせて記述しなさい。	D100	54
	精神保健	第1課題 1 PDD、ADHD、LD についてそれぞれの発達障害の日本語名を答えなさい。また、それぞれの特徴を明記し、さらにその特徴を踏まえ、周りの者はどのような関わりを心掛ければよいのか具体的に説明しなさい。 第2課題 1 精神保健領域における課題を1つ選択し、データを示して現状を分析しなさい。さらに、予測される問題について考え、その打開策について述べなさい。	C042	55
社会福祉学科(2008年10月入学生以前)	学校保健	第1課題・第2課題 1 子どもの現代的な課題の一つあげて、それについて文部科学省や厚生労働省を含む関係機関から出されている新たな知見やさまざまな資料をもとにして、学校保健に求められている対応、養護教諭の果たすべき役割・機能を考察し説明せよ。 2 学校において健康管理の必要な子どもの疾患や健康課題の一つあげて、その子どもの学校生活における疾病管理や健康管理の方策について、具体的な学校保健活動の項目(例：疾病の理解、医療管理、学校生活管理、管理体制づくり、医療との連携、本人や保護者への保健指導、周囲への教育や配慮、保健室来室時の対応、進路や将来の希望など項目は自由)をいくつかあげて説明し、その子どもにとって、養護教諭としてどのような役割を担う必要があるかを考察し述べなさい。 3 現代の子どもたちに、健康教育を通じて身につけさせる必要のある力とは何か、あなたの考えとその理由を述べ、そのような力を培うために必要な健康教育の内容や展開方法について学習指導要領を踏まえた上で考案し説明せよ。 ・ 3つの課題の中から2つ選び、レポートを作成する。 ・ 課題に沿った内容のわかるサブタイトルをつける。 例) 第一課題③「心の発達と健康：学級活動を通じたショート保健指導の取り組み」など ・ 教科書の基礎知識を基に、課題に正対し、参考書や関係資料を調べて自分の考えをまとめる。 ・ 項目をあげるなどして、段落で区切り、分かりやすく書き、表記の見直し修正をする。 ・ 迷惑をかけない範囲で出身校や近隣の学校に出向いて学習することが望ましい。	D054	81

お知らせ

レポート

科目終了試験

スクーリング

実習

●レポート課題の一部が訂正になる科目

学科	科目	誤	正	コード	ページ
児童学科	小児保健Ⅰ	第2課題 発達段階にと	発達段階と	C038	15
	社会学概論	第1課題 問33 1965頃には	1965年頃には	C124	19
	地誌学	第3課題Ⅳ1章	Ⅳ編1章	J051	26
	道德教育の研究	SO11	C104	-	31
	発達心理学Ⅱ	第1課題 Kohlber <u>u</u> g.L.	Kohlberg.L.	C036	34
社会福祉学科 (2009年4月入学生以降)	社会学	第1課題 問33 1965頃には	1965年頃には	D090	49
社会福祉学科 (2008年10月入学生以前)	社会学概論	第1課題 問33 1965頃には	1965年頃には	C124	75
	発達心理学Ⅱ	第1課題 Kohlber <u>u</u> g.L.	Kohlberg.L.	C036	74
心理学科	基礎心理統計法	第2課題 4(1) の長さが	鼻の長さが	P010	99
英米文化学科	イギリスの歴史	第4課題 1.侵入させた	侵入させた	F003	136
	英文法	第4課題Ⅲ-5 1 could	I could	F014	158
日本文化学科	地誌学	第3課題Ⅳ1章	Ⅳ編1章	J051	180
	書道Ⅲ	第2課題 ①作品の左下部に氏名を鉛筆で記入すること。 用紙は半紙以内とする。	①②両方で行ってください	J061	185
教職課程	教育心理学	P004	K003	-	192
	発達心理学	第1課題 Kohlber <u>u</u> g.L.	Kohlberg.L.	K004	192
	障害児心理学	P028	C014	-	192

平成22年度「シラバス」の一部において誤りがございましたので、右記の通り訂正いたします。

重要 平成22年度「シラバス」の誤植について

平成22年度「シラバス」の一部において誤りがございましたので、以下の通り訂正いたします。

学科	科目名	誤	正	ページ
児童学科	算数科教育法	テキスト教材『算数科教育法』 (聖徳大学通信教育部)	配本はありません	104
社会福祉学科 (2009年4月入学生以降)	社会福祉援助技術 現場実習	左上 科目No.D042	科目 No.D088	143
社会福祉学科 (2009年4月入学生以降)	社会福祉援助技術 現場実習指導	左上 科目No.D043	科目 No.D089	144
心理学科	発達心理学Ⅱ (青年～老年)	左上 科目No.K004	科目 No.P003	238
心理学科	西洋文化の源流 (英米文化学科ページで参照)	左上 科目No.P023	科目 No.P032	280



平成22年度「シラバス」において「社会福祉援助技術総論Ⅰ&Ⅱ」が追加となります。



お知らせ
レポート
科目終了試験
スクーリング
実習

重要 平成22年度「シラバス」(追加)

平成22年度「シラバス」において「社会福祉援助技術総論Ⅰ&Ⅱ」が以下の通り追加となります。
「社会福祉援助技術総論Ⅰ」につきましては、レポート課題(平成22年度「レポート課題集」52ページ)に訂正がございます。下記の内容でレポートを作成してください。

No. D096	社会福祉援助技術総論Ⅰ	水上 脩
相談援助の方法		
履修条件		2単位 通信
なし		
学習の目標		
相談援助の歴史的発展過程を理解し、ソーシャルワークの専門性を実践に結びつけて考えることができる。		
学習の内容		
相談援助の基盤について（ソーシャルワークの基礎）		
1. 相談援助の形成過程Ⅰ 2. 相談援助の形成過程Ⅱ 3. 総合的かつ包括的な相談援助の全体像 4. 総合的かつ包括的な相談援助を支える理論 5. 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能		
テキスト教材		
社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職（第2版）』（新・社会福祉士養成講座6）（中央法規）		
参考書		
太田義弘『ソーシャルワーク実践とエコシステム』（誠信書房）		
評価の要点		
テキストを中心とするが、テキストのみでなく、自分の考えも併せて記述するとよい。		
履修上の注意事項や学習上の助言		
・専門用語は、繰り返し学習してください。 ・理論を実践に生かす具体的方法を考えながら学習してください。		
レポート課題		ヨコ書 ワープロ可 1600字
第1課題		
1 ソーシャルワークはどのような過程を経て発展してきたか、また、対象者は人間としてどのように捉えられてきたか説明しなさい。		
第2課題		
1 ソーシャルワークを実践していく場合、留意すべき点は何か。ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点から述べなさい。		

No.

D096

社会福祉援助技術総論Ⅱ

佐藤 貴洋

相談援助専門職(ソーシャルワーカー)の基本的理解

履修条件

なし

2 単位

通信

学習の目標

この科目では、制度・政策としての社会福祉を具体的に実現するための援助実践である相談援助（ソーシャルワーク）について、まずは正しく理解する。そして、その中でも相談援助専門職の担い手である社会福祉士及びソーシャルワーカーとして理解すべき基本的な事柄を学習し、日々刻々と変化する社会におけるソーシャルワーカーの役割や意義を考えることを目標とする。

学習の内容

ソーシャルワーカーとして理解すべき基本的な事柄として以下の内容を中心に学習を進める。ソーシャルワークの概念と構成要素、社会福祉士の役割と意義、相談援助専門職の概念と範囲、ソーシャルワーク実践の基盤となる理念、専門職倫理、倫理綱領、倫理的ジレンマについて理解を深める。

1. ソーシャルワークとは何か・定義、概念
2. ソーシャルワークの構成要素とそれぞれの相互作用
3. 法改正の動向と社会福祉士の新たな役割
4. 地域を基盤として「総合的かつ包括的な相談援助」を担うソーシャルワーカーの役割と意義
5. 生活支援の専門職としてのソーシャルワーカー
6. 社会福祉関係施設・機関における相談援助専門職と職場
7. 諸外国におけるソーシャルワーカーの動向
8. ソーシャルワーク実践を支える理念①-ソーシャルワークの価値と価値判断
9. ソーシャルワーク実践を支える理念②-ソーシャルワーク実践と権利擁護
10. ソーシャルワーク実践を支える理念③-クライアントの尊厳と自己決定
11. ソーシャルワーク実践を支える理念④-ノーマライゼーションとソーシャル・インクルージョン
12. 専門職倫理とは何か
13. 倫理綱領の意義と内容
14. ソーシャルワーク実践と倫理的ジレンマ
15. ジェネラルな視点を持ったソーシャルワーカーの重要性

テキスト教材

社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職（第2版）』（新・社会福祉士養成講座6）（中央法規）

参考書

社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅰ（第2版）』（新・社会福祉士養成講座7）（中央法規）
社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅱ（第2版）』（新・社会福祉士養成講座8）（中央法規）
空閑浩人編著『ソーシャルワーク入門-相談援助の基盤と専門職』（ミネルヴァ書房）
川村隆彦『価値と倫理を根拠に置いたソーシャルワーク演習』（中央法規）

評価の要点

- ・レポートについては、課題の内容を的確に捉えているか、文章表現及び構成は適切か、参考文献を適切に活用しているか、等を総合的に評価します。
- ・科目終了試験は、国家試験を視野に入れつつ、選択・択一式の問題形式で出題します。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポート作成の際には、テキストや参考文献の引用だけでなく、課題に対する自分なりの問題意識を持ち、受講生自身の考えや学んだことを必ず踏まえて論述してください。また、課題の内容をよく理解し、規定の分量（1,600字）を意識しながらレポートの構成を考えてください。

